

COVID-19に関するCEOからのメッセージ

新型コロナウイルス(COVID-19)の世界的流行は私たちの生活のあらゆる側面に影響を与え、多くの人命を奪うとともに、世界規模で多大な経済的損失をもたらしています。新型コロナウイルスによりお亡くなりになった方々に追悼の意を表しますとともに、そのご家族、ご友人、同僚の皆様にお悔やみを申し上げます。また、日夜治療に当たられている医療従事者の皆様に深い尊敬の念と感謝を表したいと存じます。また、この困難のなか、当社の企業活動の維持に尽力している従業員の皆様にも感謝の意を表します。

当社グループでは、従業員の安全と健康を最優先に、各国の政府や保健機関等の提言に基づき、さまざまな施策を実施しています。当社でもウイルスに感染した従業員がおりましたが、速やかに感染拡大を防止する措置を講じ、安全な職場環境の維持に努めています。今後、ウイルスに関する知見が積み重なるとともに、世界中の拠点における感染対策を随時アップデートしてまいります。現在においては、マスクの着用や、飛沫感染を抑制するパネルやシールドの設置などの物理的対策に加え、リモートワークやソーシャルディスタンスの確保などに対する従業員の理解と意識の醸成など、多角的な取り組みを行っています。また、感染拡大を防止するための手順を示したガイドラインや理解促進のための仕組みを用意しています。

業績面においては、都市封鎖などの経済活動の制限等によりライフケア事業を中心に売上が減少しました。小売店は休業し、新型コロナウイルス患者の対応に追われた病院やクリニックでは、その他多くの医療行為が不急扱いとなりました。しかしながら、足元では経済活動が再開しつつあり、需要に回復の兆しが見えてきています。一方で、情報・通信事業については大きな影響は見られません。新型コロナウイルスの感染状況が今後どのような推移していくかの予測は困難を極めますが、警戒しつつ事業活動を行っていくことで、最悪の時期を脱していけると考えています。

ヘルスケア関連事業を手掛ける会社として、新型コロナウイルス対策に貢献することは当社の責務であると考えています。米国拠点(HOYA Vision Care ATC)においてフェイス・シールドを制作し、医療従事者に寄付したほか、気管支鏡や挿管スコープなどの医療機器を感染の影響が特に深刻な地域に寄付しました。今後も新型コロナウイルスとの戦いに貢献できるような活動を行っていきます。

新型コロナウイルスとの戦いは始まったばかりだと考える専門家もいます。各国で経済活動が再開しつつありますが、今後も引き続き従業員やお取引先等の健康と安全を最優先に事業活動を行っていきます。コロナ以前の状態に戻していくという考え方ではなく、新たな時代に即したビジネススタイルに変革させていく必要があります。未曾有のウイルスは私たちの生活様式をも変えてしまいましたが、一方でこれまで行ってきた活動を見直し、より良いものにしていくことを考えるきっかけともなりました。HOYA は今後も社会に貢献し、社会に必要とされる企業を目指し、皆様とともに歩んでいきたいと思っております。

HOYA 株式会社
代表執行役 CEO
鈴木洋